```
ラズパイ設定
```

動作確認 zero,2B,3B,3B+

1.

2.wifiの設定をしてください。

3

4. インターフェースの設定

sudo raspi-configでinterface設定でi2cを使用にして下さい。

pip3 install timeout_decorator

5. ライブラリインストール

git clone https://github.com/adafruit/Adafruit_Python_SSD1306.git cd Adafruit_Python_SSD1306
sudo python3 setup.py install
pip3 install Adafruit_GPIO
sudo apt-get install fonts-ipafont -y

6.home/piの下に学習リモコンのフォルダーをクローンする git clone https://github.com/momorara/OLED

8.node-redの最新版をインストール

以下のコマンドを実行し、

 $bash < (curl -sL \ https://raw.githubusercontent.com/node-red/linux-installers/master/deb/update-nodejs-and-nodered)$

インストール終了後、以下コマンドでnode-redを起動できます。

node-red-pi --max-old-space-size=256

9. パレットの管理にて以下を読み込み追加してください。

node-red-contrib-calc
node-red-dashboard

10.node-redで以下のフローを読み込み、デブロイする

 ${\tt LED+sw.txt}$

状態表示.txt

OLED表示.txt

*ユーザーpiでの使用を想定しています。

別のユーザーnameで使用する場合は各フローのユーザーnameの設定を変更する

11.cronの設定

crontab.txtの内容をcrontab -eにて設定*ユーザー pi での使用を想定しています。別のユーザーnameで使用する場合は修正してください。

12.再起動

13.ps ax|grep pythonとして起動しているプログラムを確認 以下の2つが動作していればOK 他にもあるが気にしない。 python3 /home/pi/OLED/OLED_01.py python3 /home/pi/OLED/SaveInfoRaspi.py

以上までできれば、スマホでnode-redのUIが操作できると思います。 http://{IPアドレス}:1880/ui/

zeroの場合、電源投入から全てが動作するまで数分かかる場合があります。

Copyright (c) 2021 Takanobu Kawabata Released under the MIT license $\verb|https://github.com/YukinobuKurata/YouTubeMagicBuyButton/blob/master/MIT-LICENSE.txt| \\$